

平成25年度第2回八幡地域協議会会議録（正規版・概要）

日 時 平成25年7月31日（水）午後1時30分～午後3時29分

場 所 観音寺コミュニティセンター 第1・第2会議室

出席者（12名）

1号委員 齊藤善之 土井明敏 新保直美 池田昭則
村上 薫 加藤俊行 佐藤康晴 長谷川明子

2号委員 後藤純子 池田善幸 阿部喜至夫 小松幸雄

欠席委員 荒生栄治 高橋知美

八幡総合支所：支所長 佐藤 弥、地域振興課長 後藤 啓、建設産業課長 小野 芳春
八幡病院事務長 阿部 博、建設産業課長補佐 阿蘇 邦夫
市民福祉課補佐 石塚 裕
地域振興課 鳴瀬 勉

傍聴者： なし

議事日程

- 1 開 会
- 2 会長あいさつ
- 3 会議録署名委員の指名
- 4 協議（住民アンケートの分析について）
- 5 その他
- 6 閉 会

1 開 会

○**新保副会長** 本日はお忙しい中お集まりいただき、誠にありがとうございます。これより第2回目の地域協議会を開催します。都合により欠席の委員は、荒生栄治委員、高橋知美委員の2名です。会議次第に従いまして、池田会長からあいさつをお願いします。

2 会長あいさつ

○**池田会長** 皆さん、こんにちは。ご苦労様です。全国的に大雨で、特に山口や島根では「これまで経験のしたことのない大雨」でかなりの被害が出ている。八幡地域についても2～3週間前にかかなりの雨が降って草津の雨量計で8百何十ミリの雨が降り、それが全国放送で流れたため、私の所にもあちこちから「大丈夫か」との電話があった。幸いにもあまり大きな

被害はなかったようだが、国道344号はまだ通行止めになっていて解除の目途は立っていないと聞いている。農家の方々もこの天候不順で不安なところが多々あるのではと思われる。本日の協議のメインは「住民アンケートの分析について」となっているが、それ以外にもこの大雨に関する皆さんの考え方とか対策など後ほど出してもらっても結構かと思われます。どうぞよろしくお願いいたします。

3 会議録署名委員の指名

○新保副会長 ありがとうございます。会議に入る前に、会議録署名委員の指名を行います。番号順ということになっていますので、今回は2番の土井明敏委員にお願いしたいと思います。土井委員、よろしくお願いいたします。

○土井明敏委員 はい。わかりました。

○新保副会長 それでは早速協議に入ります。会長が議長となり進めていただきます。よろしくお願いいたします。

4 協議

○池田議長 それでは早速協議に移りますが、概ね、1時間半位、時間にして3時頃を目途にして意見交換したいと考えています。お一人必ず1回は発言していただきたいということと、発言は時間を区切る訳ではないが、わかりやすく端的にお願いし、全員が発言できるようにご配慮をお願いしたいと思います。それでは最初に「住民アンケートの分析について」の1番、住民アンケート結果の概要について、事務局より説明願います。

○事務局 資料「住民アンケート結果報告書」及び「住民の意見より」を基にして説明

○池田議長 膨大で細かい文字の資料の中で、私は19～21ページの「不満」「満足」「重要」の項目を重点的に見てきたが、皆さんこれだけは是非言っておきたいという意見感想などがございましたらお願いしたいと思います。

○加藤俊行委員 意見交換の前段としてお聞きしたいが、このアンケートは「幸楽荘」にも配布されたのか。

○事務局 このアンケートの配布先については、市の広報を配布している世帯にのみ行っており、幸楽荘には配布していない。市の広報自体は、ある程度の部数は幸楽荘には配布している。

○佐藤支所長 幸楽荘には現在80人の方が入所されているが、正確な意思表示の可否の問題もあり、入所者の状態を考慮して今回のアンケートの対象とはしていない。

○新保副会長 北仁田の回収率の数字が違うのでは。

○池田議長 全体のトータルの数字では合っているようだ。

○池田議長 「観光の振興」の関係で、先程、玉簾ノ滝の案内表示の話があったが、私の家にも年に何十人と「玉簾ノ滝はどこですか」と尋ねて来る。すべて丁寧に教えきれないので自分で地図を作ってコピーして渡している。実際、自分の車で走ってみると看板に気を付けて行けばたどり着けると思われる。しかし、適所に看板はあることはあるが、一番肝心な総合支所の角の十字路の信号の所が青信号だと真っ直ぐ通過して大沢のほうに来てしまうようだ。若神子まで来て家が店をやっている関係で「すみませんが・・・」と観光客が来るのがほとんどである。真室川方面から来る人はほとんどいない。その辺をもう少しわかり易い案内表示にできないかと思う。以前より良くなつたが、JAみどり農協の前に「玉簾ノ滝 信号左折」の案内はあるが、それを見落とされたら、もう何ともという思いがある。ここ八幡は鳥海山や玉簾は観光の面で売り出しの要だが、道に迷われては印象が良くない。何か良い案があったら考えていただきたい。

○小野建設産業課長 玉簾の案内看板の関係では、昨年、観光物産課と国土交通省で協議して白地に絵が入ったやや大きめの看板を設置した。しかし、初めて来た人達にとっては一つの看板を見逃して通過してしまうといったことがあるようだ。屋外広告物の規制の関係もあるが出来る範囲内で対応したい。

○池田議長 迷い客も以前よりは減っている。

○小松幸雄委員 今の看板の関係は何年も前から言い続けていることだが、地元の人には頭に入っているので目的地までちゃんと行けるが、初めて来た人は全くわからず迷うのも当然である。場所をくわしく知らない、初めて来た人の気持ちになった案内看板の設置が大事である。ところで看板の設置は国でやっているのか。

○小野建設産業課長 市道などに酒田市独自で設置もしているが、それは白地に青文字の看板である。

○小松幸雄委員 この間、ニュースでやっていたが石川県の金沢市で国道・県道に関係なく市独自に案内看板を設置できるような許可を取ったとのことである。酒田市でも検討したらどうか。

○池田議長 看板も木が伸びて枝で隠れるといった問題も出てくる。設置場所とかの定期的な見直しが必要だろう。

○小野建設産業課長 看板の設置については、景観や広告規制の関係もあるが、許す範囲内で要所には付けている。しかし初めて来た人は迷われるかと思うのでその際は親切丁寧に案内していただければと思う。

○池田議長 「緊急時の通報体制」とあるが、今回の山口・島根の大洪水では避難命令が中々住民に届かなかったと聞いている。一番最初に届いたのが「エリアメール」というのをさっきテレビでやっていた。山口の分を島根で受信したという。この「エリアメール」というのは市独自で出来るのか。市の防災無線があるが大雨が降ったり強風が吹くと風向きによっては全然聞こえないことがある。今は1人1台、携帯を持っている時代なので、地震が来た時のメールのように受信できないものかと思うが、電話会社との交渉も必要となるのか。

○後藤地域振興課長 今の「エリアメール」については本所の危機管理課と協議してみたい。

○池田議長 結果を後で教えていただきたい。

○齊藤善之委員 2点お聞きしたい。市条保育園の統合は平成27年度を予定しているとのことだが、延期を望んでいる地域の意見がとても大きいと聞いている。是非、地域のために統合延期の検討をお願いしたい。もうひとつは一條コミセンの東隣に酒田市所有の空き地がある。この土地は市条保育園を建て替えるということで市が取得したものであるが、南側は蕎麦を栽培されて畑としてきれいになっていて、その周りも年に数回草刈りが入っているということで管理されているが、問題は北側に忘れられたような管理されていない30坪程の草だらけの酒田市の所有地がある。前の所有者の稲荷様があった場所だ。地域から「管理されていない」「市有地なのに、おかしい」との意見があったので、後ほど関係課で現場を見ていただければと思う。

○佐藤支所長 草刈りの関係は後ほど対応したい。市条保育園の統合の関係については、この間の「市長との未来トーク」の場で大瀧コミ振会長さん、一條小学校のPTAの副会長小野洋道さん、遠田蓉子さん、伊藤和子さんの4名の方々からそれぞれの立場で統合反対の意見があった。市長もその時、直接意見を聞いているし、我々も地域の同意がないと計画は進められないものと認識している。「未来トーク」の際、久松健康福祉部長から「結論は急がない。話し合いを続けて行きましょう」との回答があった。来週8月7日の夜、平成25年度の最初の説明会を予定しているということで、現在は話し合いを継続するという状況になっている。

○土井明敏委員 空き家の関係で、解体した場合と、そのままに建てたままにしている場合、固定資産税の額が5倍位の差があるといった問題と、ごみ袋の名前記入の件でお聞きしたい。「何故、旧3町だけごみ袋に名前を書かなければいけないの」といった意見を聞きし、

市から「自分のごみを自信を持って出していただくために名前を」と言われても、旧酒田市の自治会からは「名前を書かなくても大丈夫だ」との話もある。何となく不公平感を感じるがどうなのか。もうひとつ、前回も聞いたが、観音寺地区に住んでいる人にとって、「今後、ずっと都市計画税を払い続けなければならないのか」といった不公平感が多い。以上3点の説明をお願いしたい。

○石塚市民福祉課長補佐　ごみ袋については、先日の衛生連合会八幡支部の総会・研修会の場でも、「ごみの出し方」ということで合併前の八幡町当時から名前の記入をお願いしてきたところであり、引き続きお願いしたい旨のお話をさせていただいた。その際も、ある地区の方から「何故、八幡だけなのか」といった質問があった。その時申し上げたのは「自分のごみは責任を持って出してもらいたい」と「地域のごみステーションは地域で管理するという事になっている」という2点です。名前の記入については強制ではないが、これまでお願いしてきているし、地域外の人のごみの搬入の防止にもなる。「うちの自治会はみんな書いている。なぜ名前の記入を問題化するのか理解できない」といった意見もあったが、こちらの立場としては今後とも記入をお願いしたいということでその場は皆さんの了解をいただいたところです。

○後藤地域振興課長　空き家になっている固定資産税の負担については、通常土地の固定資産税が、家を建てることによって定住促進の優遇措置として軽減されている。家を建てると家屋に税金がかかることも勘案されている。空き家を取り壊せば、元の税率に戻ることになる。都市計画税については、合併前から観音寺、市条地区については県内でも早い時期から課税していた。都市計画税は目的税であり街中の下水道や道路の整備の財源となって徴収されている。合併前は税率0.25%で旧酒田市よりも税率は低かったが、平成21年度から旧酒田市と同じ税率に引き上げられた。都市計画税は合併前の合併協議会の中で、いずれ同額にするとの決定事項であった。そういった経過もあり、いったん決められた事項を無くするというのは難しいところがあるので観音寺及び市条地区の方にはご理解をお願いしたい。

○土井明敏委員　ゴミ袋の問題に関連して、先程の担当の方の話だと旧酒田市の場合は、皆さんが責任を持ってゴミを出しているのでトラブルが無いので名前は書かなくて良いが、八幡の場合は名前を書くことによってトラブルが無くなる旨の話に聞こえたが、一概にはそうとは言いきれない。要するにゴミ出しのルールを守ることは各個人のモラルの問題であり、名前の記入は酒田市全体で統一すべきである。ゴミ出しで「旧市はこれで良い、旧三町はこれでやって」ということは、地域にはいろいろな意見があって、いろいろな抵抗があるということを述べさせていただく。都市計画税については、皆さんの立場上、はっきり答えられないとも思うが、自分自身、いろんな会合に出席した時に聞いたのは「八幡の都市計画税は合併の際に見直すべき」というアドバイスだった。今後、この観音寺や市条地区がもっと栄える要素があるのなら理解できるが、これからの5年、10年後のこの地域を考えた場合、そういった要素も無いのが現実である。それと、空き家の固定資産税

の件で、「空き家を解体して更地にすると税金が上がってしまうから、やめたほうが良い」という考え方は間違っているということか。

○後藤地域振興課長 空き家を解体した場合、税金が上がるということではなく、元の更地の税率に戻るということである。

○土井明敏委員 そうすると、「解体すると建物の税金がなくなるので、解体したほうが税金は安くなりますよ」ということで話をして良いのか。空き家を解体すべきかどうか損得で考えている人は多い。

○後藤地域振興課長 建物の税金は年数が経つと最低の税率に落ち着くため、取り壊して元に戻ると高くなるケースがある。建物の評価額にもよるので単純に比較は出来ない。

○土井明敏委員 都市計画税の件についても、この間、市の総務部長も「無くすることは中々容易でない」旨の話をされていたが、容易でないのはわかるが、どのようにすれば我々市民の要望に応えられる結論が出るのか教えていただきたいかった。

○佐藤支所長 実際問題、現在徴収しているものを取らなくすることは容易ではない。過去、八幡町として都市区域に道路整備や住宅建設、下水道や水路の整備などでお金を投入してきたことは事実である。しかし現在を見てみると、観音寺・市条地区に投資しているようにはどうしても見えない。そのため住民の皆さんに不満があるのは理解できる。合併からもうすぐ10年になるが、酒田市として今後の都市計画のあり方のビジョンを示す必要がある。都市計画税の徴収地区に投資そのものがあるのだとすれば、それはありきかもしれないが、それが無くてどこの地区も例えば新出も観音寺も皆んな同じ扱いなら税金を取られている意味が無い訳であり、もっと強く言うべきである。

○土井明敏委員 その方法については、後日改めて相談に行くかもしれない。

○石塚市民福祉課長補佐 ごみ袋の名前の件だが、旧酒田市の例を見ると基準に合わない誰が置いて行ったのかわからないごみもあると聞く。名前を書くことによって他地区からの搬入を防ぐ手段にもなるし、出す人にとってもこの地区の住民であるとの意思表示にもなる。ごみステーションを管理する自治会にとっても維持管理しやすいと思われる。

○佐藤支所長 八幡病院に勤務していた頃、「八幡ではごみ袋に名前を書いている」と旧酒田市に住んでいる人達に話したらとても驚かれた。今まで書いたことがないし、ちゃんと持って行ってくれるとのこと。特に女性の一人暮らしの方などは「名前の記入は抵抗がある」との話だった。八幡の場合は名前を書くことによって、「自分の出したごみは正しい出し方をしています」といった自信や責任が出て来るだろうし、昔、市条一区あたりのごみ置き

場で通勤の途中にごみ袋を置いて行くといった事例もあったので管理する側からすれば記入は良い方法なのでは。

○土井明敏委員 小泉二区ではごみ出しについての監視は徹底しているし、名前の記入については異論が多いことも確かだ。

○池田善幸委員 ごみの名前記入の件は、以前も地域協議会で話題になったことがある。その際も市の当局は今のような答弁だった。ところが旧酒田市民から言わせると「八幡は何で記入なの？ごみは個人情報だよ」となる。ごみに対して責任を持つということは、勿論理解するが、それでは何故、旧酒田市のほうにも徹底しないのかとなる。旧酒田市のほうには何も言わないで、人口の少ない八幡に対して「人間としてごみに責任を持って」などと立派なことを言われても説得力がない。記入させるのであれば、全市統一すべきである。

○加藤俊行委員 ごみを出さないで野焼きをする人がいる。ビニール類も焼いているらしく家の窓を開けておくと、きつい臭いが入ってくる。「野焼き禁止」のキャンペーンをもっと大々的にやっていただきたい。それと八幡の都市計画税の件だが、八幡地域で集めた税金が八幡総合支所の予算になって、八幡地域に還元されるということはあるのか。

○後藤地域振興課長 都市計画税は、都市計画区域の整備事業の充当資金となる。

○村上薫委員 道路に空き缶などのごみのポイ捨てが散見される。福山の坂を上ったところで空き缶が多く青沢でもあった。物を売る方にポイ捨て防止策みたいな指導は出来ないものか。

○石塚市民福祉課長補佐 道路管理者との協議もあるが、ごみ捨て禁止の啓発看板の設置ぐらゐの対策は出来ると思われる。

○佐藤支所長 村上委員の発言の要旨は、コンビニでビールを買って車の運転中に飲んでそれを道路にポイ捨てしているということ。そういう事をする人は限られている。ごみの問題だけでなく交通安全の面からも問題だが、現行犯で捕まえるしかなく難しい問題である。

○後藤純子委員 「ゆりんこ」の前の自分の家の近くの土手にも一升瓶やウイスキーの瓶が落ちている時がある。雪解けの時期に多い。その場所にポイ捨て禁止の看板がほしい。

○石塚市民福祉課長補佐 具体的に地域のほうから看板設置の要望を出していただければ対応は可能である。

○池田議長 他に何かございますか。

○佐藤康晴委員 2～3点お聞きしたい。八幡の入り口にある旧八幡町時代に建てられたモニュメントだが土台部分が傷んでいる。モニュメントの今後の取り扱いの計画をお聞きしたい。それから、県の管理と思われるが大島田の近くの国道344号線の北側の防雪柵の根元の雑草は一切刈ってもらえない。国道の南側の雑草は田んぼの地権者が刈っているようだ。八幡の入り口でもありイメージを悪くしている。このアンケートにも「花いっぱい運動が終わってから、かなり荒れている」といった意見もあるが、県のほうに草刈りを依頼するなど方法はないものか。あと、八森遺跡の関係で、合併以来この件は、ほとんど手を付けられていないと思うが、今後、この埋蔵文化財の遺跡の件はどのような計画があるのかお聞きしたい。

○佐藤弥支所長 草刈りについては要望して行きたい。モニュメントについては関係部署に確認したい。

○後藤地域振興課長 八森遺跡については、「舞鶴荘」で遺跡物の整理を行っている。その整理が終われば何らかの報告があるかと思われる。現在の遺跡の場所の今後の計画については教育委員会に確認したい。

○佐藤康晴委員 八森遺跡は城輪遺跡と関連していると言われており、城輪のほうは立派に整備されている。酒田市のルーツを辿る時にひとつの重要な遺産として位置づけする必要があるのでは。

○池田議長 わからない部分は後ほど回答ということでお願いします。

○加藤俊行委員 ハクビシンがだいぶ増えている。ハクビシンは有害鳥獣になっていないのか。ホームセンターなどに行くとそれら動物の捕獲道具が売られている。それを使って勝手に捕獲して良いのか伺いたい。これからの時期、トマトやスイカなど、ことごとくやられてしまう。

○石塚市民福祉課長補佐 この間の衛生連合会の席で情報として話したが、酒田市でまとめたハクビシンの被害調査の結果を自治会長あてに情報として送付している。調査によると家庭用の作物の被害が一番多かった。そこで具体的にどのような対策をするのかとなると、現状ではハクビシンの捕獲は狩猟免許がない人は罠などの仕掛けは出来ないことになっている。しかし、市としては被害状況が大きいということを踏まえて、県に捕獲基準の見直しを要請しようといった段階である。ホームセンターで捕獲道具が売られているが、どこかに小さく「資格の無い方は使用出来ません」と表示になっているはずだ。そういうことでハクビシンは法律的には捕っては悪いことになっている。

○加藤俊行委員 周りから「自分で捕まえた」という話も聞いている。

○石塚市民福祉課長補佐 市の業務の中にハクビシンの死骸の処理というのものもある。通報を受けた場合、そういうのは「道路で車に轢かれて死んだのだろう」ということで処理をしている。「自分で捕まえたのですか」などと深くは詮索しないことにしている。

○加藤俊行委員 ハクビシンたちは、夜、行動することが多い。

○佐藤支所長 以前、ハクビシンを捕まえて駐在所に連絡した人がいた。駐在でも対応に苦慮したようだが、「違反になりますよ」という指導はしたようだ。とにかく現在のところ捕獲は出来ないことになっている。しかし農作物に被害が出ていることであり、市の判断で対応出来るように、県のほうにも規制の見直しなどの働きかけをして行きたい。

○加藤俊行委員 最近、自然環境の変化の関係なのか、夕方になるとキツネも見かける。話は変わるが、除雪の関係でアンケートの中にも「遊佐町より下手だ」との意見があったが除雪業者に対しての指導マニュアルみたいなものはあるのか。除雪で高齢者の方が足腰を痛めたとの話があったが、除雪車で家の前に寄せられた雪というのはとても固く、それを除くのは我々でも大変な作業だ。前回の会議でも遊佐町のやり方を話したが、各地区ごと、場所ごとに例えば「この地域は道路の南側に排雪して」というような業者への指示のマニュアルみたいなものはあるのか。

○小野建設産業課長 除雪のエリアについては4ブロックに分けて業者をお願いしているが、手元には無いが、土木課のほうで除雪に関し業者へ指導している文書はあるはずだ。どうしてもエリアが広い関係で朝3時～4時頃から作業を始めると、我々が朝起きたころには既に家の前に固まった雪が置いてある状況になっている。これから冬に向けて除雪の打ち合わせ会議もあるので土木課サイドにも今の話に関する要望をして行きたい。

○加藤俊行委員 去年の冬も大雪だったが、交差点付近に雪が高く積み上げられて、見通しが悪い所が街中を中心に数カ所あったので、排雪についても、もっと力を入れていただきたい。

○小野建設産業課長 交差点の角の雪の壁については、去年も要望をいただき雪の高さを抑える指示をしてきたが、なにぶん、大雪の場合だと追いつかない時もある。今後、効率よく計画的にやるようにして行きたい。

○佐藤支所長 除雪について、アンケートの回答を分析すると、観音寺・市条地区については除雪された雪を家の前に置いていかれるケースの苦情が多いようだ。大沢・日向地区は少ない。家の敷地や道路の状況の関係もあるが、地区によってだいぶ違いがある。

○池田議長 小松さん、お願いします。

○小松委員 ぐるっとバスの関係で、アンケートの意見にもあったが「産直たわわの前にバスが行かないため、買い物したいが出来なくて不便」との意見があったので、もしバスを回せるものならお願いしたい。

○小野建設産業課長 一條循環線のぐるっとバスは「たわわ」前に停まっているようだ。

○佐藤支所長 今の件は、日向・大沢方面からバスに乗って来た人にとって、バスが八幡病院から「たわわ」に寄らず「やまゆり荘」方面に行ってしまうため、「たわわ」にバスの乗り換えなしで百円の範囲で行ければとのことかと思われる。

○池田議長 長谷川さん、お願いします。

○長谷川明子委員 回収率の関係で、私がこのアンケートに記入が終わって回収の期日に留守にする用事があったので回収する人に届けたところ、「そんなに無理する必要は無いのに」と言われた。市から100%回収しなくてもいいようなニュアンスで伝わっていたみたいで、せっかくのアンケートがもったいないなという印象があった。小平の回答が0件ということでちゃんと配布されたのかなと心配になってくる。お金をかけてやっているので、回収はしっかりするようにといった通知があったら良かったと思う。

○後藤純子委員 このアンケートを読んでみて、それぞれから色々な意見が寄せられていてしっかり書いてくれたということで驚いた。このアンケートの結果の扱い方について、書いてくれた人はどうなっているのかなと気になっている訳で、この結果を前は広報に載せるとの話があったが、どのような形で地域の皆さんにお知らせするのか、例えば地区懇談会などを考えているのかお聞きしたい。

○事務局 アンケートの結果の報告については、市当局・議会・地域の方々の3つを考えている。地域の方々への具体的な報告の方法はまだ考えていないが、市当局などへの報告が終わってからの対応になろうかと思われる。

○新保副会長 このアンケートの「これからの取り組みの重要度」の高い項目として、「道路の除雪や排雪」の他に、「道路照明灯や防犯灯の設置」もあった。具体的にどのような場所に設置を要望しているのか調査していただき、住民が安心して暮らせるようお願いしたい。あと、「保健・福祉・医療」の分野の満足度が高かったということだが、地元で八幡病院や幸楽荘という施設があり、包括支援センターといった施策の意味でも今後とも力を入れていただきたい。

○阿部喜至夫委員 「観光振興」の関係で、家族旅行村の施設が寂しくなったとの話があったが、鳥海やわた観光の和田社長に「東北で本格的に乗馬体験出来る場所はあるか」と聞いたことがある。小岩井農場みたいな柵で囲われた所をちまちまとじゃなくて、自然の中を乗馬出来るような所はないかという内容だったが、最上町の牧場でやっているという。鳥海山を背景とした自然を活かした観光客の誘致がこの地域では観光振興の目玉になると思うので、第三セクターとはいえ株式会社である鳥海やわた観光の運営に、行政でどのくらい意見が言えるかわからないが要望したい。個人的にはそういうものがあれば観光客も増えて相乗効果で「たわわ」にも客が来てくれるのではと思っている。現在、牧場のほうはNPOで管理しているということだが、乳牛の飼育だけでなく馬なども取り扱って、もちろん採算が取れなければ長続きしない訳だが、観光振興ということで客も増えて雇用も増える形で八幡地域のまた違った観光の目玉となる資源になるのではと思う。前の会議で、市長も牧場の件では頭を抱えているといった話をされていたが、NPO団体には当然、市のほうでも支援していると思うので、今後の方向性もあるが、この地域に本格的に乗馬体験が出来る施設があればと個人的には思っている。

○池田議長 前にあった旅行村の子どもの遊具は全部無くなったのか。

○小野建設産業課長 ほとんど無くなっている。どこの施設もそうだが、パターゴルフ場も最初は良かったが、現在は老朽化して痛みが激しく修理が追いつかない。これからは長続きするものを見越して建設しなければいけないのかなと思われる。幸い鳥海山は独立峰で自然環境にも恵まれており、また、百名山の取材も入ると聞いているので地域の目玉としてPRしてみたいと思っている。

○土井明敏委員 30～40年位前に、日向川に乗馬クラブがあったと記憶している。馬は一度重賞レースで賞金を取ると元はとれると聞く。

○小松幸雄委員 馬そのものは安いですが、買ってからの経費が高い。車が1台買えるほどだ。

○阿部喜至夫委員 走れない馬は肉の値段にしかならないと聞く。

○加藤俊行委員 生石に行くと4匹くらい居る。

○佐藤支所長 馬を牧場で飼うというのは、この地域は積雪があるので課題が多いと思う。

○小松幸雄委員 青森の下北半島の寒立馬みたいに、積雪が少なければ可能かも。

○小松幸雄委員 冬になったら馬を山から下りらせて、田んぼで観光客をソリに乗せて引っぱらせるのも一つのアイデアかと思う。

○池田議長 池田委員お願いします。

○池田善幸委員 先程からごみの問題の具体的な意見が出ているが、山菜取り、特にタケノコ取りの際に持ってきたコンビニの弁当をクマにやられたという話を聞いた人は多いと思う。それは人間のマナーの問題でありクマが悪いのではない。ハクビシンの問題はマナーの問題とは違うものだ。富士山が世界遺産に登録されたということで、ものすごい登山ブームだという。現在、試験的に入山料を徴収しているようだが、八幡町時代に千円の入山料を頂戴してごみの後片付けなどの経費に充当していた。合併を機に徴収しなくなったが、環境は守っていかなければならないということで、お参道の刈り払いとか、ごみの回収もある程度はやっている。しかし、藪の中までの弁当の食べ残しや空き缶の回収は出来ない。登山者のマナーは良いが、山菜取りのマナーは何故あんなに悪いのかと常々思っている。確かに数十キロのタケノコを背負えば重いし、ごみまで持って帰るのは嫌かもしれないが、そこは人の良心にかかるのであって、行政のほうからも入山者へごみを持ち帰るよとの啓発をやっていただきたい。弁当の食べ残しを捨てて来ることでクマが味をしめてしまったし、人間が持って来るものはおいしい物ばかりだとクマが覚えてしまった。だからごみを山に捨てる人間が一番悪い。自然環境を守っていくためにもごみの持ち帰りは大事なことだ。もうひとつ、除雪の関係で先ほど支所長からも話があったが、日向・大沢地区の人は除雪に関してはそんなに苦情は言わないが住宅地になると苦情が多いとのこと。私から見るとなぜ住宅地は苦情が多いかと言うとコミュニケーションが無いからである。日向地区は朝3時～4時にもなると除雪車が来るので、地区の人は一斉に除雪を始める。日向地域の人達は「雪が降るのは当たり前のことであり、自分の力で除雪しないと生活が出来ない」という考え方が徹底しているためだ。酒田の市街地に行くと「何で除雪しなければならないの」とか「何で家の前に雪を置いていくの」との話になるが、除雪してもらおうということはありがたい話なのであり、大事なことは、地域住民の一人一人が「出来ることはやりましょう」ということであり「これは市道だから酒田市の責任だ」ということではない。「出来ることはやりましょう」といったことを地域住民の方に理解してもらおうことも必要だと思う。そのような中で、一人暮らしの高齢者世帯などには手を差し伸べて行く形で、行政からの補助金の支援とは別に、自治会長を中心に地域のコミュニケーションを取り合って、お互いに助け合って行きましょうということが大切だ。1年中、雪が降る訳ではなく2～3ヶ月我慢して冬を乗り切りましょうという気持ちをみんなでもってもらえば良いのではと思う。升田の雪は2mを超えるが、だれも「自分の家の前に雪を置いて行かれた」などと言う人はいない。家の前に雪があっても自力で片付けている。一人暮らしの高齢者宅については村上薫さんなどの民生委員が献身的に対応してくれている。行政のほうでも住民に対して、この地域の都会とは違う気象条件を理解していただき、自力での除雪に協力いただきたい旨の啓蒙活動をやっていただければと思われる。権利ばかり主張して義務を果たさない人が最近非常に多いように思われる。

○佐藤支所長 除雪の関係について、民生委員を通じて道路から家の前の除雪を依頼したが、酒田市全体で協力員だけで去年753人いた。その報酬は千円である。雪下ろしの関係では、費用の2分の1の補助で上限2万5千円で、作業は業者に依頼する形になっている。この利用者については、ここ数年、この地域は同じ雪の降り方だが、延べで平成22年度が52回、23年度が46回、24年度が29回ということで少なくなっている。支援制度のあり方が良くないのではということで、関係課に投げ掛けしているところだ。補助の対象が住民税の非課税世帯が条件であり、アンケートの意見にあった「病気で退院後、除雪支援を申請したがだめだった」というのは、おそらく課税世帯だったのではと思われる。雪の深い地域など、もっと利用しやすい制度を検討しましょうということになっている。

○村上薫委員 今回の雪下ろしの件も、高所作業になるので保険の関係上、普通の人では上がってはいけないことになっているので建設会社に委託という形になっているが、2人くらいで作業をするので1日で5万円以上はかかる。それと下した雪をそのままにしていってしまうケースもあり、その雪を誰が片付けるのとなる。高齢者なので片付けることも出来ない訳である。

○佐藤支所長 豪雪地域の特別枠みたいな、若神子より上とか、黒川より上とかそういった支援がないとこの地域は益々住みにくくなるのではないかと思われる。全国の支援のやり方を見ると様々な方法があるので参考にして検討して行きたい。

○池田善幸委員 仕事の関係で大きな除雪機械を持っているが、感じるのは人の力なんてたかが知れているということである。屋根から1日かけて下した雪も機械だと30分位あれば片付けることができる。しかし個人的に頼まれる時もあるが限度もある。国の補助事業で市役所が窓口にもなって、農協のヘリ防除みたいに、地域の若者が4～5人グループを組む体制を作って、市役所で10台くらい除雪する機械を購入して、道路以外の高齢者宅の庭先などを除雪する仕組みを作ったらどうか。大台野と湯ノ台の除雪ボランティアに私の家内が行ったが雪の量がとても半端ではなかったとのこと。大きな除雪機械があれば効率が良い訳で、市が音頭を取ってそういった機械を数軒で使えるような組織を確立していければと常々思っている。小さな除雪機械では効率が悪くて使えない。定価で300万円位するものでないと駄目である。将来、一人暮らしや高齢化社会を迎えるにあたって除雪に関しては八幡がモデルとなるような地域となるよう動いてもらいたい。

○佐藤支所長 今回の発想は一つの方法かも知れない。大沢コミセン、日向コミセン両方とも敷地は広い訳だから機械の置き場所にも困らないだろう。参考にさせていただきたい。

○小野建設産業課長 今回の話の除雪レベルまでは行かないかも知れないが、土木課サイドで

もグループを作ったの除雪機械購入に対して補助制度はあるが、金額的には池田委員の言われた購入額の10分の1くらいである。

○土井明敏委員 以前その制度を利用しようかと検討したことがあったが、補助金が少額過ぎることや機械の管理の問題で、やめた経過があった。補助金の額をもっと多くすると、高齢者世帯など増えている訳であり、利用するグループも増えるのではないか。

○佐藤支所長 昨年は11団体の申請があり、300万円の補助金が出た。上限は30万円である。

○土井明敏委員 「農地水」の助成金の絡みで、遊佐町だと除雪機械を購入しても良いが、酒田市では駄目だという。そういった助成金も豪雪地域に合った使い道が出来ればと思われる。

○池田議長 他にございませんか。予定の時間もだいぶ過ぎました。今日のまとめとしまして、今日の会議で意見要望がたくさん出ましたので、それと、策定されている八幡地域ビジョンを基にして、特に重要度の高い項目から来年度の予算に反映させるということで、皆様のご承認をいただきたいと思いますが、いかがでしょうか。

～委員一同、「異議なし」の声～

○池田議長 「異議なし」の声がありましたので、地域課題の解決のために予算要求に向けてまして、事務局のほう、よろしく申し上げます。

5 その他

○池田議長 5のその他ですが、事務局又は委員から何かありますでしょうか。

○小野建設産業課長 この間の大雨の関係だが、市道と林道にかなりの被害があった。今後、予算要求をして改修をして行く。現場は現在ブルーシートなどを敷いているが、今後の雨で2次被害など出る恐れもあるので、何か市民の情報などあれば八幡総合支所までご連絡をいただきたい。通行止めなどの対策を講じる必要があるので被害を発見したら是非お願いしたい。

○佐藤支所長 現在、山添で1箇所通行止めになっている。しばらくかかるだろう。8月1日号広報に後藤静男自治会長が市長に現場を説明しているところが写真入りで掲載されている。その他、数10箇所の改修費用は総額で4千万円を超える見積もりであった。

○池田議長 他にございますか。なければ本日の地域協議会を終了したいと思います。

6 閉 会

○新保副会長 貴重な時間、皆さんからご協力をいただきましてありがとうございます。これをもちまして、第2回目の地域協議会を閉会いたします。委員の皆さんご苦勞様でした。